

株式会社百十四銀行 平成23年度の取り組み

百十四銀行では、全国的に電力不足が深刻化していることを踏まえ、全行を挙げて節電対策に取り組んでいるほか、夏場に水不足が問題となりやすい香川県に拠点を置く銀行として節水活動にも積極的に取り組んでいます。

本店ビルは、平成23年5月に完了した改修工事で環境配慮型ビルとして生まれ変わりました。

●取組内容

本店ビル 省エネ・環境配慮型ビルへ
平成19年11月に本店ビル別館屋上約161㎡を緑化。
平成23年5月には、省エネ・環境配慮型ビルへの改修工事が完了しました。
既存の壁面ガラスをガラススクリーンで二重に覆う新工法（ダブルスキン）を採用。ダブルスキンの上下に換気口を設け、夏には外気を取り入れて熱気を排出、冬には日射による暖気を閉じ込めることで、冷暖房負荷の軽減を図ります。
また、手洗い・給湯室の器具を節水型とし、照明は人感センサー付のLED照明に変更し、環境にやさしい取組みを推進しています。



クールビズ・ウォームビズの実施
冷暖房需要が拡大する時期の節電対策として、クールビズ・ウォームビズを全店で実施しました。
23年度は期間を前倒し・延長して更なる節電に努めました。
【クールビズ】 5月～10月（22年度:5月末～9月）
【ウォームビズ】 11月～3月（22年度:12月～3月）



エコキャップ収集活動
「小さな親切活動」の一環として、銀行内で収集したエコキャップ（ペットボトルのキャップ）をリサイクルメーカーへ売却し、売却金を発展途上国の子どもたちのためのワクチン購入費として寄附しています。



節水活動への取り組み
高松市内の全店と市内在住の行員自宅を対象に、高松市「節水キャンペーン」（6月～9月）への参加を呼びかけました。オリジナルの節水ポスターを作成するなど工夫を凝らし、節水への意識付けを高めるとともに、夏場の水道使用量削減に取り組みました。



電気自動車の導入

走行中のCO2排出量ゼロの電気自動車「I-MiEV」を営業車として順次導入しており、平成24年3月現在、計5台導入済みです。
(本店営業部、総社支店、水島支店、倉敷支店、東京支店)



フォレストマッチング協働の森づくり

塩江町の協定森林0.7haに5年かけて植林を行い、森林整備・環境保護に努めています。平成23年11月には第4回目の植林活動を行いました。
平成23年度は、この森林整備などにより、2,800kgのCO2を吸収したとして、香川県より認定証の交付を受けました。



ライトダウンの実施

・セタライトダウン(7月7日)
・ムーンナイト SHIKOKU(9月12日)
などの取り組みに賛同し、全店で午後7時以降の建物内消灯に努めたほか、毎週水曜は「ウエズデイ・ライトダウン」として行員の早帰りと8時以降の消灯に継続的に取り組んでいます。



節電への取り組み

前年同月比15%電力使用量削減の目標を掲げ、全店を挙げて節電対策に取り組みました。
各部店での削減量を集計・数値化し毎月周知することにより、節電効果を再確認するだけでなく、各部店が競争意識を持って積極的に節電に取り組みました。空調設定温度の統一や蛍光灯の間引き・消灯の徹底など、全行挙げての取り組みを引き続き実施しています。

以上